

令和8年度(第3期)

事業計画書

令和8年度

自令和8年4月 1日

至令和9年3月 31日

一般財団法人 日本著作権育英財団

神奈川県鎌倉市笛田5丁目19-9

1. 基本理念(定款第3条関係)

一般財団法人日本著作権育英財団(以下「当財団」という。)は、経済的理由により就学が困難な中学生及び高校生に対し、奨学金を給付することにより、学習機会の確保と将来の自立を支援することを目的として事業を行う。

令和8年度は、奨学金事業の安定的継続を図るため、奨学金原資となる寄付金の獲得を最重要課題として位置づけるとともに、支援者と奨学生双方にとって意義ある制度運営を目指す。

2. 前年度の事業実績概要

(1)奨学生募集・選考の実績

令和7年度においては、全国から17名の奨学金応募があり、書類選考及び面接選考を経て、令和8年度より3名の奨学生に対する奨学金給付を開始する予定である。

(2)奨学生募集に関する告知活動

奨学生募集にあたっては、以下の告知活動を実施した。

- 能登半島地震被災地において、小学校を訪問し、学校関係者を通じたパンフレット配布の依頼
- 佐賀県福祉事務所を通じた奨学金制度の周知依頼

その結果、能登地区からの応募は0名であった一方、佐賀県からは2名の応募があり、行政機関を通じた告知の有効性が確認された。

(3)寄付金募集の実績

日本著作権教育研究会における著作権処理を通じた著作権者からの寄付については、月額おおむね10万円程度の寄付が継続的に寄せられており、年間では約100万円規模の寄付収入となる見込みである。

一方、じぶん奨学金を対象としたクラウドファンディングを法人向けに2件実施したが、寄付申込には至らなかった。

3. 令和8年度事業運営指針

基本方針

(1) 奨学金給付事業

1. 奨学金給付対象者数:3名
2. 給付内容:月額給付及び入学準備金を含む所定額
3. 給付期間:原則として3年間

奨学生の学習状況及び生活状況を定期的に把握し、必要に応じた助言・支援を行う

(2) 奨学生募集・告知事業

奨学生募集については、前年度の実績と課題を踏まえ、以下の施策を実施する。

1. 福祉事務所、社会福祉協議会等の行政機関との連携強化
2. 中学校・高等学校の進路指導担当者向け資料の作成及び周知
3. Web サイト及び紙媒体を併用した情報発信

これにより、経済的支援を必要とする家庭への情報到達率の向上を図る

(3) 寄付金募集事業

1. 継続寄付の安定化

日本著作権教育研究会を通じた著作権者からの寄付について、引き続き透明性の高い情報公開を行い、信頼関係の維持・強化を図る

2. じぶん奨学金の推進

中小企業経営者及び個人事業主を主な対象として、個別説明や紹介を中心とした寄付募集を行う。クラウドファンディングは補助的手段と位置づけ、対面又は個別相談型のアプローチを重視する

(4) 広報・情報公開

1. Web サイトを通じた事業内容及び寄付金使途の明確化
2. 奨学生及び支援事例の紹介(個人情報に配慮した形で実施)
3. 年次報告書の作成・公開

4. 事業計画(重点施策)

4-1 寄付金獲得事業

(1) 寄付募集と基盤整備

1. 寄付者データベースの構築・管理強化
 - 定期寄付者・単発寄付者の属性管理
 - リピート寄付促進策の設計
2. 寄付者向けコミュニケーション施策

- 年次報告(ホームページ／年次レポート)発行
 - 寄付者限定ニュースレターの配信
 - 寄付者向けイベント開催
3. 寄付金収入の目標設定
 - 累計寄付金:年間 300 万円以上を目標(現状の月額 10 万円×12 ヶ月+じぶん奨学金寄付増を見込む)

(2)奨学金制度の拡充と透明性向上

1. 従来のスマイル奨学金に加え、個別支援ニーズに対応したじぶん奨学金の仕組みづくりを推進する
2. 支援者に向けた情報公開と年次報告体制を整備する

(3)広報とネットワーク強化

1. Web・SNS・教育現場との連携を通じて認知拡大を図る
2. 特に企業経営者、個人事業主層に向けたアプローチを強化する(じぶん奨学金向け)

4-2 具体策

(1)じぶん奨学金の強化

支援者が名前を付けられ、支援対象の選考にも参画できる**中長期支援型モデル**として訴求力を高める。

1. じぶん奨学金専用募集キャンペーン企画
 - Web 特設ページ・DL パンフレット整備
 - 説明会・オンライン相談会(月次)
2. 寄付者特典・体験価値の設計
 - じぶん奨学金の活用方法の紹介
 - 選考参加のイメージ
 - 奨学生からの定期レター配信の説明(学期毎)
3. 寄付設定例・活用提案の提示
 - 「社名記念」「理念名記念」などの寄付名称例提示
 - 寄付者の想いをストーリー化して発信
4. 寄付金目標設定
 - じぶん奨学金:年間 2 件以上 の新規設定を目標

(2)スマイル奨学金

1. 通常寄付からの原資充実による支給体制の安定化
2. 応募・支給制度の改訂・改善
3. 奨学生・支援企業(団体)とのつながり強化

4. 支給実績の可視化(ホームページ・SNS での発信)

(3)広報とネットワーク

1. Web サイト更新と SEO 強化
 - 寄付情報・じぶん奨学金情報の露出強化
2. SNS 戦略の最適化
 - 寄付ストーリー、奨学生の声、支援者のコメント発信
3. 教育機関・自治体との連携強化
 - 奨学金制度の周知協力、説明会企画支援

5. 収支計画(概算)

(1)収入の部

- 寄付金収入(著作権者) 約 1,200,000 円
- じぶん奨学金寄付 約 1,300,000 円(目標は 2,600,000 円)
- その他収入(一般募金) 約 1,000,000 円

(2) 支出の部

- 奨学金給付金(3名) 約 1,080,000 円
- 事業運営費 約 100,000 円
- 広報費 約 100,000 円
- その他経費 約 100,000 円

6. 総括

令和8年度は、奨学金給付事業を着実に実施するとともに、寄付金獲得体制の強化を通じて、事業の持続可能性を高める年度と位置づける。前年度に得られた知見を活かし、実効性の高い募集・広報活動を展開することで、当財団の目的達成を目指す。